

実物資料の企画展示に合わせて、セット本の展示を行いました。

滋賀県立八幡工業高等学校

利用セット「東南アジア・南アジアセット 中学校向」

利用時期 平成 21 年 5 月 19 日～6 月 18 日



八幡工業高等学校の司書浅井さんに伺いました。

Q セット貸出しを、申し込まれた理由を教えてください。

A 学校生活の中で「ホンモノ」の魅力に触れてもらうために、図書館前に設置されている展示ケースを使って、年数回テーマを設けて、実物資料の企画展示をしています。今回は、「東南アジア・南アジア」セットの本の展示と絡めた企画展示を計画し、セット貸出しを申し込みました。

Q どのような展示だったのですか？

A 本校職員から、山岳民族の伝統的な生活文化を知るコレクションを借用し、『東南アジアの民族文化展』を開催しました。展示期間は約半年で、民族衣装や装飾工芸品等を中心に、5 回展示替えしました。



セットの貸出本については、学校図書館内に特設コーナーを設けて、表紙を見せて紹介しました。生徒たちの興味を引くよう、本校職員が現地で撮影した写真もパネルにして展示しました。絵本の原書は、目に付くようにページを開いて並べました。また、生徒図書委員会による校内読書週間(6 月 3 日～9 日)に合わせて、セット本の中から図書館クイズを出題し、広報誌『LIBRO』で応募を募りました(次ページ)。

Q 生徒たちの反応はいかがでしたか？

A 図書館前の実物展示スペースは、生徒の動線上にあるので目に留まりやすく、印象に残ったようです。本の展示では、アジア地域の言語で刊行された絵本について、ほとんど目にする機会がないため、興味深げに手に取って見ている生徒もいました。クイズには、50 人を超える生徒の参加がありました。

Q 今後セット貸出しを利用する学校に、アドバイスなどがあればお願いします。

A セットは、幅広い分野の資料で構成されているので、高校でも十分活用できると思います。このようなセット貸出しの支援を利用することで、生徒たちに興味を持たせ、図書館利用につなげられるのではないのでしょうか。

(2009 年 12 月)



実物展示と本展示のコラボは、生徒の眼を図書館に向けさせるよい「きっかけ」ですね。高校でのご利用ありがとうございました！国際子ども図書館担当より

広報誌LIBROから、図書館クイズ部分を抜粋

LIBRO

Vol. 1.

2009. 6.

八工図書館新聞 図書委員会責任編集

(LIBRO)とは、スペイン語で「本」という意味です。

図書館クイズに 応募しよう!

今回のクイズは『東南アジア・南アジアセット』（現在図書館に展示中）から出題されます。クイズに答えて賞品をゲットしましょう！

「東南アジア・南アジアセット」は国際子ども図書館からお借りした本で、世界の様々な情報を得ることが出来ます。本が好きなのも、苦手なのも、この機会に是非読んでみてください。

クイズに応募する人は、図書館に用紙があるので、気軽にチャレンジしてください。

(三・四 坂田)

図書館クイズ

テーマ 東南アジアと南アジア

☆ 全問正解者（該当者多数の場合は抽選）には図書カードをプレゼントします。どしどし応募してください。

応募用紙は図書館にあります。 応募〆切：6月12日（金）

Q1 「クレイボット・ミー」とは 日本では何と言う料理でしょう？

A

Q2 「右手は●●な手、左手は★★な手」ヒンドゥー教ではどう思われているでしょう？

A 右手 左手

Q3 万里の長城は中国語で何と読むでしょう？

A

Q4 本当にいた神の名前は？

A

① ラクシュミー ② アクシュミー ③ サラシュミー

Q5 バングラデッシュの昔話のタイトルは？（2つ）

A①

②